相米交流

変化と成長

今野翔太
建築設計計画研究室

はじめに

今回私が設計に選んだ敷地は神奈川県相模原市にある米軍基地である「相模総合補給廠」です。その中の一部返還予定地を今回の敷地に選びました。そこに市役所の方から「スポーツ施設」を設計してほしいという話をいただいたので私は、相模原市に返還予定という事で今失われつつある相模原の特徴の「自然」を取り入れ、米軍基地問題などで少なからずストレスを抱えている市民が憩いの場、交流、滞在、運動などができる「相模原の庭」のようなスポーツ施設を設計した

敷地説明

敷地：相模総合補給廠米軍基地
敷地所在地：神奈川県相模原市
中央区相模原小山
全体敷地面積：2,143,508㎡
用途：工場用途
利用敷地：返還予定地　共同利用スペース
利用敷地面積：104,850㎡
用途：スポーツ施設

交流イベント

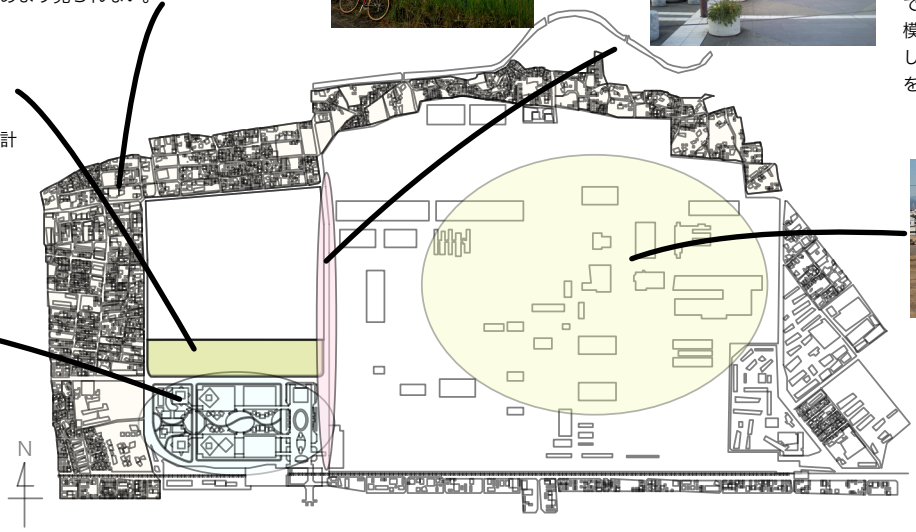
米軍基地内では様々な交流イベントが行われています。マラソン大会やラーメンバトルが行われていますが、米軍基地外ではあまり行われていません。なので今回のスポーツ施設では、米軍が基地から出て交流できるスポーツ施設を

敷地　住宅側
敷地は相模原の特徴でもある平坦な敷地。そこに敷地一面に天然芝が敷き詰められている。その芝をいかして設計した。

住宅街
敷地周辺には密集した住宅街がある。ほとんどが住宅分の敷地しか確保されていなくて、開放的な庭を持つ住宅があまり見られない。

小田急多摩線延伸予定
一部返還された事で小田急多摩線を相模原駅に通す事ができるようになったので、相模原市は多摩線を延伸を予定している。リニア中央新幹線を開通させる予定である。

開発予定地
現在ある米軍の住宅地が移動して相模原に返還され、商業施設や集合住宅が建設予定されている。今回の返還から相模原の活性化を狙い、ここを活性化させる中心となる設計を試みている。



米軍基地内
米軍基地内には戦車や武器の倉庫や食料の倉庫がメインで敷地内に野球場や体育館などの運動場も配置してある。

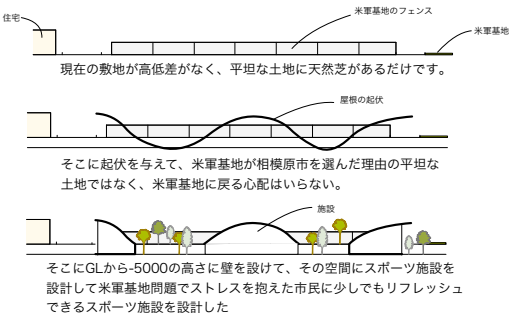
敷地広域図1/20000

相模原市と米軍基地

相模原市は昭和16年に人口3万人を越え「相模原町」になり軍都建設計画が始まりました。相模原市に米軍基地が来たのにには2つの理由があります。1つは相模原の地形です。相模原の地形はとても平坦で高低差が少ないので戦車の試運転がしやすいなどの利点があります。2つめは都心から離れていないことです。相模原から都心部に行くのに1時間で行ける事の2つが主に選ばれた理由です。そして米軍基地に仕事を求めて地方からたくさんの労働者が集まり昭和29年には人口8万人を越え「相模原市」が誕生しました。そして現在も人口は増え続けており平成22年には人口70万人を越え「政令指定都市」となった。なので相模原市の現在までの成長にとても深く関わっています。

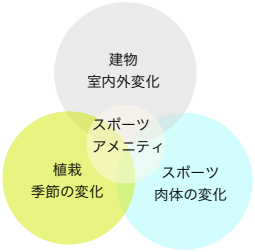
デザイン

建物のデザインは、相模原の地形の平坦で高低差がない敷地に起伏な屋根を与え、土地にも変化を与え、その屋根にGLから-5000の高さに壁を設けて空間をつくり、その空間にスポーツ人口の「見る人」「やる人」「見せる人」「教える人」の人が快適に過ごし、スポーツ人口が増えるようなデザインにして、ランドスケープには相模原の植栽を取り入れて相模原の昔の雰囲気をこの施設で取り戻す設計にした。



コンセプト

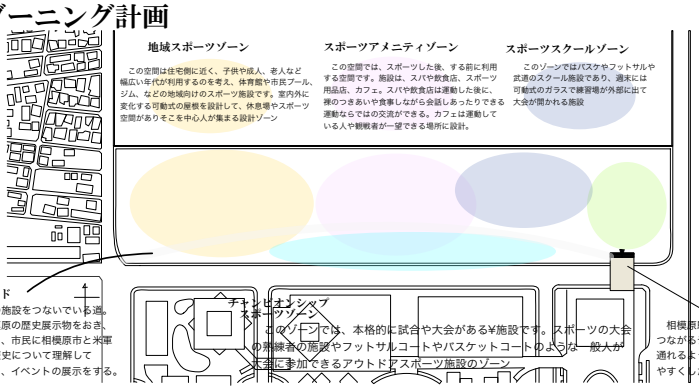
今回の設計コンセプトは「変化と成長」です。変化と成長というのは「自然」「スポーツ」「建物」の共通点です。建物には室内外に変化する空間や屋根、自然には春夏秋冬の季節での変化、スポーツは季節や練習や大会に変化などがあり、そしてお互いが時間を経て成長していきます。この3つの時間軸での変化や成長をからめていく事で一つだけでは起きない変化や成長が楽しめると考え設計した

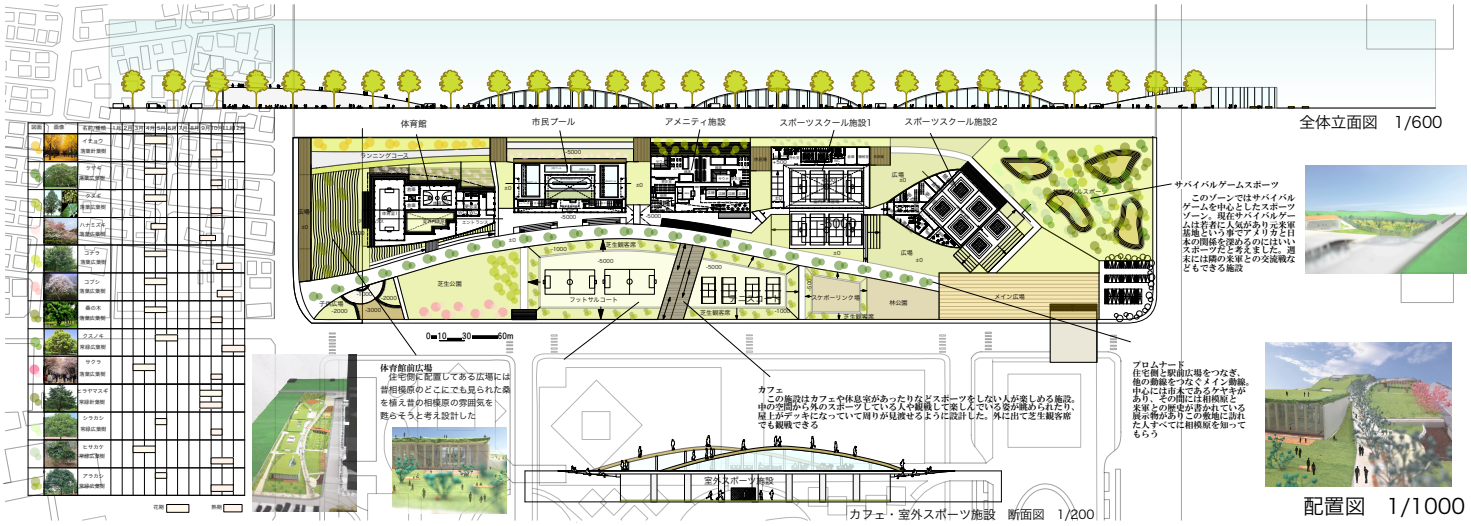


プログラム

建築用途はスポーツ施設は3つにゾーニング計画した。西側には住宅地に近く市民スポーツ施設で体育館や市民プールなどの老若男女使える施設で主に「やる人」「見る人」がメインで利用する。東側は駅からの動線に近いのでスポーツスクール施設を設計した。ここでは主に「教える人」「見せる人」がメインで利用する。その中心にスポーツアメニティ施設を設計してスポーツの前後に快適に過ごせる施設となってい

ゾーニング計画





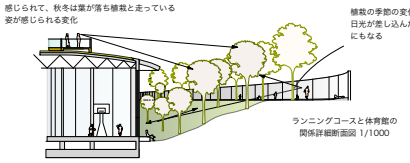
全体立面図　1/600

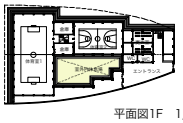
配置図　1/1000

カフェ・室外スポーツ施設　断面図　1/200

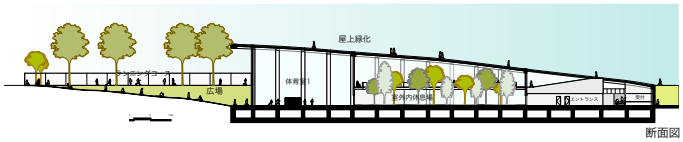
市民体育館

この施設は、住宅に一番近いので市民が利用しやすい体育館を設計した。中心に室内外中庭通路がすべての部屋に通じていて、屋根が可動式になっているので天気や季節に合わせて変化できる施設となっている。周りの植栽には落葉広葉樹のコブシなどを植えて夏期には楽しめて塾期にはランニングコースや屋上を歩いているものがみえるようになっている

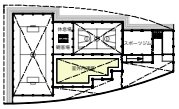




平面図1F　1/1000



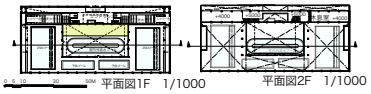
断面図　1/400



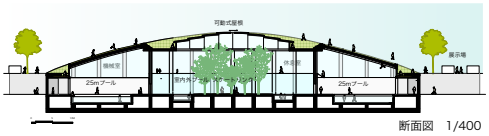
平面図2F　1/1000

市民プール

この施設も屋上緑化されていて、歩いている人も中が見れるようになっていて可動式の屋根が動いてベンチの屋根になるように設計した



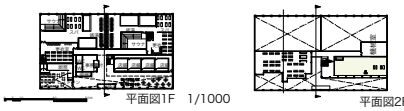
平面図1F　1/1000　平面図2F　1/1000



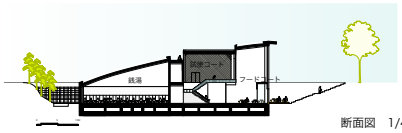
断面図　1/400

スポーツアメニティ施設

この施設は、フードコート、レストラン、スポーツショップ、試使利用所、銭湯などの運動する前、した後に楽しめ、スポーツならではの交流を深められる施設。スポーツならではの風呂での裸のつきあいや、チームメイトでの道具の買い物など楽しめる施設



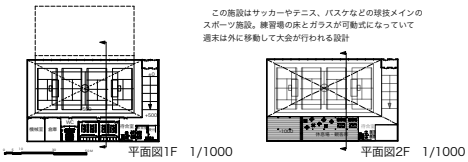
平面図1F　1/1000　平面図2F　1/1000



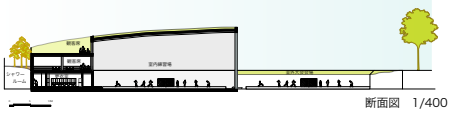
断面図　1/400

スポーツスクール施設1

この施設はサッカーやテニス、バスケなどの球技メインのスポーツ施設。練習場の床とガラスが可動式になっていて週末は外に移動して大会が行われる設計



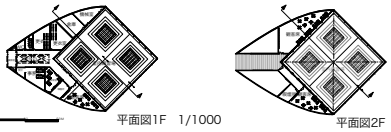
平面図1F　1/1000　平面図2F　1/1000



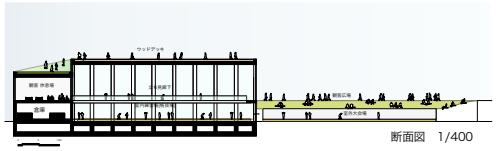
断面図　1/400

スポーツスクール施設2

この施設は柔道や剣道、弓道などの武道メインのスポーツスクール施設です。この施設もガラスが可動式になっていて室内外施設になります。二階が観客席になっていてランドスケープを楽しんでる人も中がのぞけて楽しい施設になっている



平面図1F　1/1000　平面図2F　1/1000



断面図　1/400